（１）（除日曜）第三種郵便物認可　日刊　昭和21年6月1日
昭和24年2月28日　逓信省特認第333号
いわき民報
夕刊　昭和30年9月1日（木曜日）第2847号

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町六三
いわき民報社
編集部電381
広告専用電1222

9月のコヨミ

1日	二百十日
8日	白露
9日	重陽の節句
11日	二百二十日
21日	彼岸入
24日	秋分の日
30日	仲秋の明月

（ブラジル提供）

平市の火葬場完成

東北一を誇る、一時間余で焼ける

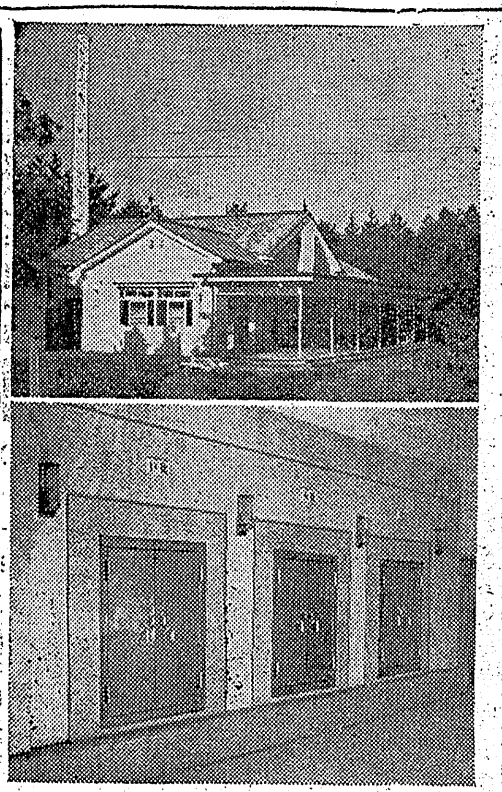
三日、多数参列落成式

平市営火葬場（平市大舘）の改築工事はこのほど成り、三日午前十時から新装なつた火葬場に諸橋市長始め関係者、来賓など約百名が出席して落成式が行われる。今度の火葬炉は遺族たちが待つていて遺骨を持ち帰れるという能率的なものに変つたほか、建物も業者の犠牲的な奉仕ですつかりモダンになり、近代的火葬場としてはマサに東北一を誇るにたるものと市当局は鼻高々である。

市営火葬場は昭和三年に建てたものだけに火葬炉始め建物の老朽が甚しく、新築する予定だつたが予算が少く改築ということで市民課が企画、工事も火葬炉という特殊工事のため、専門の名古屋市博愛社（社長荒竅次氏）に指名、四百八十三万円で請負せた。着工は六月一日、竣工契約九月二十日だつたが、約束より二十日以上も早くスピード完成させ、当局をびつくりさせた。火葬場の敷地は約六百坪、改築した建坪は八十七坪で正面から入ると先ず、大理石で額をとつた金庫型の火葬炉三基が美しく配列され、その西側に九坪の祭壇室があり、祭壇には近く市長、市会議長の花輪を常備させ、各遺霊に対する弔慰を表わす事になつている。東側には六坪の洋室と一段高くしたところに十二坪の床の間付きの和室が設けられ、いずれも遺体が焼けるまでの待合室にあてられる。床は火葬炉前だけがタイル張りの設計だつたが、博愛社の寄贈で全部タイル張りにされ、火葬炉の火入場も天井のない設計だつたが、これも寄贈によつて綺麗に設備された。倉庫や便所は古材を利用したものだが、モルタル造りで新築同様にできた。色彩にも気を配り、内部は白色、ネズミ色など落着いた上品なもので、外部も鉄平石張りやグリーンのリシン仕上げを施し、特に三十坪のポーチはコンクリート張り、それに欄間は同社の寄贈で装飾がほどこされ一段と美しくされた。火葬炉の煙突も取換えられ、真新しく六十尺のものが出来上つたが、吸込みが良く従来三時間もかゝつたものが、この博愛式火葬炉では薪、木炭、重油など各種使用でき、ザツト一時間二十分で処理できる能率的なものとなつた。入口にはモダンな門柱も寄贈された。新妻市民課長は地元業者の反目を受けながらも、同社に指名したというので、余暇をみつけては毎日工事現場を訪れ、業者を督励したという熱の入れ方だつた。これに対し請負者の荒社長は

「私はこの工事には相当犠牲を払つた。日本全国どこでも工事を引受けているが、平市の火葬場は改築にしては大変立派にできた。私の口からは何んですが東北一は勿論、全国的にも模範的なつくりです」

と語つている。



【写真は上品な内部と火葬場の全景】

土木事務所が發足

復興事務所を廃止吸収さる

平土木監督所は十月一日からの機構改革により、平土木事務所として新発足、平市正内町（第三小前）の平復興事務所は廃止され、土木事務所に吸収された。平土木監督所では誕生以来十二年を経ているので、近く県と打合せの上、開庁式を行う。平復興事務所は看板を平土木事務所分室として従来通り、現在の事務所で事務をとる。平市では復興事務所の廃止で都市計画事業の推進に困難を来たすのではないかと、先きに存置運動を行つたが、酒井土木事務所長は「復興事務所の職員、臨時雇など今まで通り二十名がおり、別に仕事上では支障はないと思う」と語つている。

財務所長に井澤氏

機構改革による異動

新機構改革にともなう人事異動は三十一日発令され、地元石城郡は財務事務所長兼福祉事務所長に井沢保氏（前地方事務所長）土木事務所長に酒井佐久寿氏（前平土木監督所長）といずれも横すべりとなる、初代農地事務所長に原町土地改良所長だつた渋井只三氏が就任する。その他の人事異動次の通り。

▼小名浜港務所長　武藤一佐久（兼江名港湾事務所長）▼農業指導所長　野口隆吉（もと農系課長）▼病害虫防除所長　六本木昇（経済駐在主任兼務）▼平児童相談所長　井沢保（福祉事務所長兼務）

珠算試験

十日に締切

平商工会議所主催の第二十五回珠算能力検定試験は来る十月二日行われ平商高で行われるが、受験申込みは九月十日午後四時半まで、申込み場所は平商工会議所（平市字中町一五）受験料は一級百十円、二級百円、三級九十円、四、五、六級五十円

一時低温

九月の天氣豫想

磐城市小名浜測候所では九月半一カ月の天候予想を三十一日次の通り発表した。

九月はおよそ十日毎に気温が変動する見込み、すなわち二日ごろ十二日ごろ及び二十二日ごろを中心にして一時強い低温があらわれそうで雨もこのごろふり易くなりそう、これを旬別にみると【気温】▼上旬、前半に一時強い低温があらわれるが後半は平年並かやゝ高い日が多くなりそう▼中旬　全般に低温が出易く特に前半より旬中ばごろにかけて強い低温があらわれそう▼下旬　平年並かやゝ高目の日が多いが旬初めごろに低温となる見込み【降水量】上旬初め及び中旬後半より下旬初めごろにかけて雨がふりやすくなりそう。なお中旬初め及び中旬後半より下旬初めにかけては台風によつてかなりの雨量となるきざしもみられる。

山田小湊に簡易水道

四倉で近く許可申請

四倉町では従来から同町山田小湊部落民の飲料水は不衛生で伝染病の発生があると憂慮していたが、この程簡易水道布設計画書も出来上つたので同地内に布設すべく近く県衛生課に認可申請を行うことになつた。工費は百八十二万円で許可になれば直ちに着工される。

山田小湊は旧大野村の部落で五十戸をもつへんぴな部落で、井戸水はみなシブ水のため住民は山田川を流れる水や雨水などを貯水して飲料水にするという極めて不衛生なため、毎年伝染病に依る犠牲者が続出する有様、以前は全部落民が伝染病に罹り問題となつたこともあり、町では合併と同時に水道布設の計画を進めて来たものである。

財務事務所發足

ずらり並んだ看板

新機構改革で地方事務所は九月一日から財務事務所として発足した石城地方事務所の大看板をはずした旧庁舎は財務事務所、福祉事務所、農地事務所、病害虫防除所、農業指導所、経済駐在室、林務駐在室の小看板（巾一寸五分、長二寸）と、これまであつた石城町村会、常磐総合開発期成同盟、石城市町村協議会、県教委石城出張所磐城小川江筋事務所の大看板十二枚が、賑かに玄関に並び、さながら貸ビル的合同庁舎宛らに変貌した。改革初日の庁舎内は税務関係を除く各事務所員は机に座つては見たものの、八月末までの旧書類は整理を終えて倉庫のなか、事務細則の指令はおろか辞令の交付もなく、取りかかる仕事もないままに一日を過していつた。

【写真は小さく書き並べた財務事務所の看板】

總合開發に盡力を誓う

五市議長會議

平、常磐、内郷、磐城、勿来の五市議長並に事務局長会議は三十一日午前十時から勿来市役所で開かれ、当面の諸問題について意見が交換され殊に綜合開発に尽力する事を誓つた。なお事務局関係の決定事項は

一、東北野球大会選手選出の件

一、事務局職員研究会結成の件

会議後一同呉羽化学呉羽化成工場を見学し次回開催地は常磐市。

平署内異動

平署では三十一日付で署内十五名の移動を左の如く行つた。カツコ内は旧任地。

四倉　相楽薫（沢渡）
沢渡　東條経治（捜査）
外勤　西村俊夫（大野）
大野　武藤寅壽（外勤）
下好間　宮沢譲（外勤）
草野　鈴木初雄（下好間）
捜査　大沼実（駅前）
〃　原谷新次（本宮署）
外勤　山沢進（草野）
駅前　坂井正雄（相馬署）
大浦　若松利夫（駅前）
駅前　市川松治（外勤）
外勤　藤井稲治（大浦）
〃　平間孝（好間）
好間　太田藝明（外勤）

人事消息

永野英子氏（永野柳造弁護士夫人）直腸ガンのため平市才槌小路二〇の自宅で療養中のところ八月三十一日午後七時四十五分死去。七十才。葬儀は九月三日午後二時自宅出棺する。

勿来警察署長に赴任した警視柴田義房氏は一日挨拶廻りのため来社した

【写真は柴田署長】

天気予報（一日）

「今晩」北よりの風、曇一時俄雨の降ることもあるが、のち晴間が出る。「明日」北のち南よりの風、朝晩は曇がち、日中は時々晴る。海上は、今晩明日とも稍風波があり、朝晩は見通しが悪い。

岡カ見物

きようから秋となつた、二百十日でもあり朝から小雨が降りそゝいで気温も下り爽やかな秋の初日ということは出来ない。想い起せば卅二年前関東大震災が起きた日でもある。台風もなく案外静かでわが石城は米もこの分では平年作の二割増収は確実だろうという見通しだ▼ただし二百二十日が無事なればというワケ、全国的に米も七千四百万石とれるという未曽有の豊年万作を予想されている。こうした恵まれた年に食糧対策を新たに樹てる必要はないものか▼戦後足らん足らんでやつて来たが今年はホツト一息ついたところだからといつて外米を買わず全部食つて仕舞つたのでは、またもとの〃モクアミ〃になるのではないか、これまで買つて来ただけの外米を続けて買受け余剰米を貯蓄したらどうだろう▼戦前どの部落にも郷倉というものがあつてこれに貯米し戦争に備えたが、戦争のためでなく平和食糧のために貯めて置くのである。半年分でもいくらでも備蓄米があるということは国民心理の上にもゆとりが出来て、日本のまた郷土の復興の上にも好いのではないかと思う。終戦十年目あたりから国民生活に余裕のある施策もやつてみることは悪くない。

サニーが贈る
味覚の秋のサービス
特製100圓均一
★ハムバーグ・ステーキ
★ポーク・カツレツ
★スキヤロツピニ・ヴエロネーゼ
★スパゲツテイ・ハムブルジヨアーズ
★ハム・エツグス
★マカロニ・グラタン
★出前いたしております★
レストラン
サニー
平市三田小路電1109

○喜多流　謡曲　仕舞
○幸流　小鼓
お稽古　毎週月水金土
【入会随時】
平市田町電一二七
白土稽古舞台

クスリの御用は…
株式会社
神谷薬局
平市田町三三（電三二）
小賣店　平市田町五〇（電二一九八）

プロレス會場で壽司
來る九月三日力道山一行のプロ・レス國際大試合會場に壽司折詰、食堂の準備をいたしましたから御利用下さいませ
★寿司折詰
予約承り
江戸川
電話一〇二二、一四五六、二一六〇

永山家庶民史料（五）

根本忠孝

仕　切

八月十九日　常右衛門殿持
第壱番
山十印　百駄也
六拾五両換
代金六拾五両也
一金九両也　万引
一金壱両六百拾八文
六拾七平均引
〆金拾両六百八拾文
右之通代金別紙目録に差加え此表
無出入相済申候　以上
享和弐年十一月二十四日

永山徳左衛門殿
長井常次郎印

×　×

古天付山十印松川仕切
辰十月入　傳次郎殿持
一、五拾四駄片　すならし
三拾七両換
代金弐拾両六百八十文
内金三両一分五百十八文
壱分ト百弐拾九文廿九日切
さし引〆金拾六両弐分ト三拾五文
此銀四分九厘
辰十月廿七日　内金拾両也相渡す
〆残り金六両弐分ト四百九文也
右之通仕切目録書右之通残金相渡
此表無出入相済申候　以上
巳六月二十二日　湊屋仁左衛門印
長山徳左衛門殿

【解説】右二通の仕切は永山家に傳わる十数通の一部である。この他の仕切帳は享和二年（問屋長井常次郎）、享和三年（長井五郎次郎）、文化三年（栃木屋利右エ門）、文化十三年（長井重三郎）等の年号が見える。永山家は元録時代に既に江戸（今の東京）に知られ、文化、文政時代には最も隆盛をみた問屋で材木業を兼ね煙草、乾椎茸、乾栗、あい玉等の地方物産を扱い、その範囲は今の石城、双葉、田村、安達、安積、岩瀬、東白川、西白河及び耶麻各郡にも手を伸している材木は双葉郡請戸港から下総銚子港まで、三春藩の年貢米は沿道の諸問屋を経て小名浜港まで輸送した。松川煙草は石川郡を通過し、永田、煙石、蓬田、湯郷戸、石川沢井、栃木、仁井田、旗宿、みの沢、伊王野、黒羽、福原蛭田、喜連川、氏家、阿久津の順で送り、こゝから舟で栃木屋利右エ門の手を経て久保田河岸の問屋冨田権兵衛方へ陸上げをして江戸へ送つている。他に文政二年及び四年の仕切帳を見ると、川前から上三坂、上遠野を経て勿来の九面港から江戸へ直送したことも知られる。巳六月二十二日の仕切は文化六年である。九両万引とあるは九両の手数料をいう。

×　×

仕切
山十一、竹貫三百五拾九俵　船頭
直吉船賃金三両壱分也
内金壱分ト荷引
残金三両也
一、壱貫九百三文　蔵数口銭
一、四百五拾文　雑用三泊
〆金三両弐貫弐百五拾三文
此金三両壱分六百三文
下り成
右之通り栃木屋利右衛文へ積送り
申候　以上
戌十二月二十六日　氏家太郎兵衛

【解説】戌十二月二十六日は文化十一年である山十弐番駄賃帳には「奥州河前荷主永山徳左エ門、才料傳次郎」と表記し、この仕切が綴られてある。松川葉煙草の輸送に際して竹貫の銘柄を使用しているが、川前徳左エ門の問屋が小名浜及び塙領の輸送路を利用していないのは他に理由があつたのであろうが、同家の口傳によると寺西重次郎代官に関係があつたことがうかがわれる。即ち永山家は元録頃から江戸に上り俳人其角等とも交遊していた豪商で天領の輸送に功があり、ラシヤ羽織の着用を許され、桑折御代官所の名主集会には上座につき、このラシヤ羽織を着用していたのは当時たゞ三人であつたという。当時の俚謡に

江戸の伊達家もさらには着まい
余惣左エ門の羅紗羽織

というのが唄われたのはこの間の消息を物語るものである。余惣左エ門の別名をいう。

封建制下の農山村民が如何なる生活を営んでいたかを知るに貴重な「永山家庶民史料」は種々雑多な断片まで数えれば数十通にも及ぶが、これを一々連載し解説の繁を避け、ほんの一部を連載したに過ぎないが、これによつて何程かの参考になる、今日の疑問を解き明日への指針ともならば幸である「いわき民報」の紙上の都合もあるから、本稿はこれにて筆をおくことゝする。「終り」

離婚さまざま

八割五分まで女性が訴訟

結婚は甘くもあり、にがくもあり、悲しくもあり千変万化である。平家庭裁判所への離婚訴訟にその偽らざる実態がぶちまけられる。本年に入つて既に五十件の離婚訴訟が起き、その八割五分までは妻からの苦情である〃あれほど仲が良かつたのにどうして別れたんだろう〃とはよく世間できく言葉である、次ぎにいろいろ変つたケースの訴訟問題をとりあげ、何故に夫婦生活の悲劇が生まれるのか、以下その二、三を掲げて見た。

他の女性と散歩が因
これは圓満元のサヤに

その一…某市の会社に働くA氏（三七）は最近附近の街に働く某女と恋愛から結ばれ愛の巣をつくつた、ある日買物に出た妻が、会社で働いているはずの夫が若く美しいAラインスタイルの女性と仲良く連れ立つて散歩しているところを目撃した「私という妻がありながら、結ばれて日も浅いのに」と愛情過剰だつたのか逆上した妻は夫の言訳も聞かず真直ぐ家庭裁判所に飛び込み離婚訴訟を起した。調停委員が話を聞いたところその時夫は仕事の連絡に来た女子社員と歩いていたことが判り円くおさまつたが、担当した調停委員は「大同小異はあるが、女性にはあり勝ちのことです。夫婦仲に疑問があればお互によく話し合うことが先決です」とコワイようなこの事件に頭をかいていた。

妻が子寶のみに愛情
夫は遂に女をつくる

その二…平凡な見合から結婚生活に入つた某夫婦は二年後に子宝を得た。初めて子供が生れたため、妻は何時しか子供にばかり心を使いろくに化粧もしなくなり夫の身の廻りの世話もおこたりがちとなつた。このような妻の極端な変化に今までは余然たしなまなかつた酒を夫は自然に口にする様になり、家への足も遠くなり、あつち、こつちの呑屋に顔馴染もできるようになり女もできて、最後には家にまで連れ込むようになつてしまつた。妻はこの醜態に耐えかね、とうとう離婚の申し立てを行つた。これに対し調停員は「酒をのまなかつた夫が、たしなむようになつた間には相当の期間もあつたのだから、この間に愛情のヨリをもどす事もできたハズだ。これに気がつかなかつたというのは女としてあまりに呑気だつた」と妻の立場をせめている。これに対しこの妻は「私は夫が女をつくつたことは以前から知つていた。しかし子供だけを頼りに生きてきました。今後も子供のために生きます」と強硬で未だ二十八の若い盛りで離婚してしまつた。夫は三十才。

教育差がついに破鏡

その三…炭鉱に働く某夫婦の離婚話…夫は鉱夫（三五）で高小卒、妻（三三）は女学校卒、恋愛から炭鉱長屋で二人だけの愛の巣をかまえ妻は夫のためこまかい点にまで良く気を使つた、しかし夫は妻が気がききすぎるため、かえつて気まずくなり、仕事からの帰りも遅くなり、帰つて来ても食事が終ると遊びに行くようになつた、妻が「たまには少し家で落着いて話しでもして下さい」と頼むと夫は「どうせ俺はロクに学校も出ていない、お前は女学校を出ているので俺を軽蔑しているんだろう。馬鹿だから今迄お前のいうことを聞いてきたが、もう聞くものか」と憎しみをもつようになつた。この憎しみというのも学歴や余りに夫の心に立入つたためだつた。別に乱暴はしないが、あまりの仕うちにたまりかねた妻は遂に離婚訴訟を起した。調停員も骨を折つたが「妻の教育程度が夫より高かつたため、まとまらなかつた」と語つている。

夫はふん切りがない
両親との別居生活を訴訟中

その四…市内近在の小農の娘A子（二二）は農休み中街に洋裁を習いに出たため農家の生活に不満を持ち、都会生活にあこがれた娘はフトした機会に炭鉱に働くB氏（三〇）と知り合い恋愛関係におちいつた相手の家庭は父が某炭鉱の上役で経済的にも恵まれていたが、長男なところから別居生活を條件に結婚生活に入つた。結婚生活一年をへたが、この夫は性格が弱いため両親と離れて生活する気力もなく、女性にしてみれば両親や弟妹へのきがねやら農家と炭鉱の生活様式の相違などからどうしてもこの生活に順応できず、結婚の時の條件である「別居生活」を行うように家庭裁判所に泣き込んだ。ところが夫がどうにもフンギリできないのでこの調停は失敗、そのためこの女性は約束が違うと目下離婚の訴訟を起している。

夫の地位向上が原因
単純な妻ついに別る

その五…平市内の某会社に勤める夫（四〇）とその妻（三五）は幸福な生活を過し、妻は夫の愛を一身に受けていたが、不幸なことに子供が出来なかつた。それでも妻は夫の愛情を頼りに生きて来たが、夫の社会的に地位が高まるにつれ仕事の都合から外泊が多くなり、食事も共に取ることが少くなつて来たのを誤解した妻は「夫は私から離れてしまつた。もう前のような全幅的な愛が無くなつた」と思い離婚訴訟にでた。家庭裁判所では素行を調べたが、外泊することがあつても仕事上のことで二、三の女性と知り合いもできたが、別に深い交際も無いことが明らかになつたが、意地を張つた妻はトウトウ離婚してしまつた。この意地に対しても調停員たちは「ずい分単純な別かれ方でした」とびつくりしている。

假装盆踊り
四倉で開く

四倉町消進会主催の懸賞付き仮装盆踊り大会は今一日夕午後七時から二日間同町公民館前広場で盛大にくりひろげられる。なお当日は四倉出身のキングレコード専属作詩家東條寿三郎氏に依頼していた新盆踊り歌詞が発表される。

配置転換問題の
安結點

常磐炭鉱労使間の配置転換問題は昨報の如く通勤区手当支給方法について組合側は毎月支給の制度化を要求しているのにたいし会社側は一時金支給の線の回答をしているので両者の意見が対立したが、今回の第一次的配転者一五九名に対しては一時金二千円支給の外それぞれ現物給与で妥結したが、今後に行う第二次的配転については組合側は手当制度化を強く要望し会社側が承認しない限り応じない態度を表明している。残る問題は右通勤手当これだけで妥結した。主なる要求條件は左の如くであるが殆んどが組合の要求の主張が通つた。

▼各鉱よりの直通バスを運行する▼通勤手当として移住するまで月額一〇〇円を要求▼温度條件の改善▼作業場における帽替を行わない▼坑口に入浴場を設備する▼自動車発着場に待合所を設備する▼通勤バスは乗車券を発行、関係者以外の乗車の厳禁

純血を守れ！性病を駆逐しましよう
性病豫防週間一―七日

平醫師會
会長 鈴木正男
平市田町七三 電六一三

新田目病院
院長 新田目五郎
平市才槌小路二四 電一一五

外科 内木醫院
平市大町六の二 電六八三

性病科 皮膚科 矢吹醫院
平市古鍛冶町七 電一一九三

厚生醫療 指定病院 財團法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
本院平市十五丁目二〇電八一二
分院平市小太郎町一三電六〇八

産婦人科 外科 實川醫院
平市田町三六の一 電二七〇

産科 婦人科 井坂醫院
井坂久吉
井坂浩三
平市田町七一 電五五九

金成醫院
金成桂一
金成俊男
姫野靖雄
杉野元也
平市鍛田町 電八二六

五十嵐産科婦人科
平市大町一八 電三六九

平に被害者出る

ヒ素入りミルクで

全国で二十四名の乳児を死亡させ、製造中止を命ぜられた森永乳業徳島工場製品ドライミルク（ＭＦ）の被害者が三十一日平市内に出た。

平市大町一五店員荒川金兵衛さん（三〇）は長女美智子ちゃん（生後三カ月）の具合がおかしいので蓬来医院で診断をうけた結果、三十一日ＭＦミルク授乳によるヒ素中毒と確認された。荒川さんは妻セツ子さん（三〇）の母乳が足りないので去る十七日三丁目星薬局から本年六月六日製造のＭＦミルク一罐（四百五十グラム入り）を買い、美智子ちゃんに二十一日まで一罐を飲ませた。その後美智子ちゃんの食慾が半減し、下痢を始めたため二十六日蓬来医院で受診したがこの時は下痢程度と思われていた。その後なお症状がとまらないので三十一日再診をうけたところヒ素中毒症と確認されバル－（毒消し）治療が施された。蓬来医院の診断では今のところ命には別状がない模様。なお県衛生課の分析によるとＭＦミルク一罐には十八ミリグラムのヒ素が含んでいる。

北目の痴漢容疑

矢吹副會長調べらる

平署では去る二十九日婦女暴行未遂容疑で平市赤井字不動堂郡連青副会長矢吹寛作（三七）の任意出頭を求め取調べを行つた。容疑は先月十八日夜九時ごろ平市七軒町地内、磐高裏手の北目に通ずる道路上で平市七軒町引揚者住宅飯耳丁さん妻シズイさん（三九）を襲い、首をしめ暴行しようとして、通行中の北目町トビ職宮島武さんに助けられ、未遂に終つた事件であるが、容疑者は現場に中古自転車をなげ捨てゝいつたところから、足がついたもので矢吹は取調べにたいし、当夜は酒をのんでいたゝめ犯行の記憶はないと否認、しどろもどろの供述をしている。矢吹は元赤井村青年会長であつたが、最近妻と別かれ、子供一人がいる。平署では午後帰宅をゆるした。【写真は取調べを受けた矢吹】

店員が横領

四倉町警部補派出所では四倉町大字上仁井田字千歳無職少年某（一八）を横領の疑いで取り調べていたが一日書類を送検した。

同人は、平市堤の内九食肉店大塚武雄さん方に小僧として住込み中、去る十七日平市一丁目三豊松こと松本久米造さん方にラード一斗罐二本（時価六千六百円）も配達、その代金をもつて逃走していたが二十九日実家に舞戻つたところを検挙されたもの。

機械工死亡

高温の坑内で

三十一日午前十一時四十分ごろ内郷市綴町常磐炭鉱綴鉱南一斜坑右一片却引立でパツキング取替作業中、同鉱機械工小林勝さん（三二）は熱中症のため倒れ内郷病院に収容されたが同日午後二時四十分死亡した。当時坑内の温度は四十二度だつた。

廣野で釣大會

双葉郡広野町青年会では九月六日午前五時から同町県立農業傳習所裏二ツ池（広野駅から木戸市徒歩で約二十分）で〃鯉釣り大会〃を行う。同青年会では昨年十月稚魚千尾を二ツ池に放流し今では、尺一寸から八寸までの大物揃いに育ち、去る三十四日の試験釣りでは喰いも良[illegible]時間で十尾を釣りあげることが出来た。参加は自由で会費は一人二百円。

動力線を盗む

磐城署では三十日常磐市大字八仙字白坂土工三浦弘こと須藤弘（三七）を窃盗現行犯で逮捕した。同人は三十日午前三時半ごろ磐城市大字南富岡字中の島に架設してある同市管理の排水ポンプ用動力線約五〆（時価二千円相当）を盗んだもの。

豚の子七頭生る

白水小に歡聲あがる

内郷市白水小学校（校長永井昌次氏）で今年三月から初めた生産教育はその成果が良いだけに関係方面の注目を浴びている。生産教育とは児童たちに生産的な仕事を習得させるもので、生花とか家畜などを飼育させ、その中でそれらのものの生態の研究や動物愛護、情操教育の高揚を計り、生産されたものの利益によつて少しでも児童たちの経済的な負担を軽減しようというもの、これは不況の中にあえぐ炭鉱界の学校教育としては、実地に生きた面をとらえているだけにＰＴＡの関心も深い、同校ではその一端として豚の飼育を本年三月から行つているが、この豚の飼育方法は大体次のようである。

この親豚は当時伊達郡の県畜産組合からＰＴＡの協力で一匹一万六千円で二頭買入れ今度やつと七匹の子豚を生ますのに成功した。豚が産気づいた時にはＰＴＡの生産部長や渡辺担当教員がいつ生まれるかと気を揉み、小屋に豚と一緒に寝泊りしていたほどの熱心さであつた。この豚は二十一日に生まれ、五百匁程度で、牡が三頭、牝四頭である。希望者があれば一匹三千二百円程度で売るという。またもう一匹の牝豚が十二月に子が生まれるそうで、これらの子豚を売つた代金や別に花園もつくつているので、売つた代金をため困つた生徒たちを助けて全員で修学旅行をするんだと生徒始め学校側でも大張切りである。豚の管理は全校生が当たり、家庭で余つた食物など持寄つてきたり、生徒が当番を決め、毎日食べ物入れのカンを持つて集め廻つているため、全然飼料代はかゝらない。

【写真は生れたばかりの子豚たち

一合十圓で直接販賣

酪農錦支部で決定

菊多酪農組合錦支部（錦農協内）では従来管轄より集荷されていた優良牛乳は植田町大野、遠野町不二屋の両牛乳店に送られていたが九月一日から大野牛乳店には送らず、不二屋に一部分送付するほか大部分の牛乳は泉町酪農場で処理（殺菌）し直接消費者に一合十円で市価より一円安に販売する事になつた。右について錦酪農組合長金成金二氏は左の如く語つた。

「現在の組合員は七八名で一日の生産牛乳は一石二、三斗位ですから勿来市全区域に亘つての販売は出来ません。取り敢えず錦町地域だけに止め、漸次販路を拡大したいと思つています。それに一合当り一円の安値なので販売業者から反対の声もありますが薄利多売主義をモットーに乗り出した訳です。」

湯本一中運動會

常磐市湯本第一中学校の秋季運動会は十日の予定だつたが十一日に行うことに決定、なお雨天の際は十八日に延期する。

十八名が控訴

平事件の有罪者

福島地検は三十日平事件統一組九十九名の検事控訴を行つたが、一方被告團側も卅一日午後有罪の判決を受けた鈴木磐天團長（内郷市議）ら十八名は第一審判決を不服として仙台高裁に控訴の手続きを行つた。有罪の判決を受けた二十三名中実刑を受けた平子ら四名は即日控訴を行い残る太田万右衛門＝懲役二月執予二年＝も今明日中に控訴を行う。

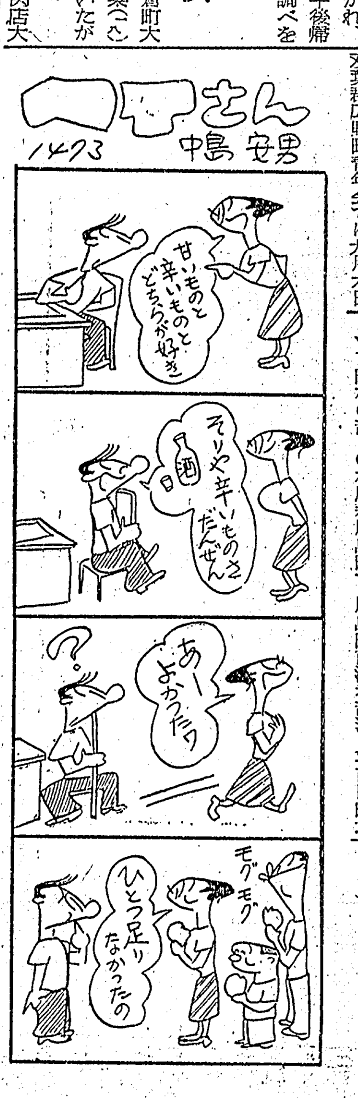
特賞に呉羽化成、磐崎、鹿島鑛

ハエとカ撲滅に優秀、表彰式

浜通り衛生協議会では六月二十五日から八月二十日までに行つた「ハエとカ撲滅運動」入賞者表彰式を六日午後一時から平保健所会議室で開く、被表彰者次の通り

▼市町村の部 ❶相馬郡鹿島町北屋形部落❷原町市十三区、石城郡田人村一ノ倉部落❸勿来市植田町北台町地区、双葉郡標葉町細谷部落、同郡刈野村酒田部落、内郷市宮町平太郎❹相馬郡鹿島町南海老部落、平市田町地区、宮岡町毛萱部落

▼事業場の部 特賞＝勿来市錦町呉羽化成社宅❷常磐炭鉱磐崎鉱金地区❸同鹿島鉱龍刀沢地区原町市原紡社宅


1473
中島安男
甘いものと辛いものとどちらが好き
そりゃ辛いものさだんぜん
酒
?
あーよかったワ
モグモグ
ひとつ足りなかったの

妻永野英[illegible]永々療養の処八月卅一日午後七時四十五分死亡致しました
茲に生前の御厚誼を感謝し右御通知申上げます
追つて告別式は来る九月三日午後二時自宅に於て相営みます
平市才槌小路二〇
昭和三十年九月一日
永野柳造
嗣子 永野孝夫
親戚総代 渡辺扶
永野藤夫
山口伊勢次

在外資産確得常磐分會

四日に結成

常磐市の引揚者はかねて在外資産補償確得期成同盟会石城支部の常磐分会を結成すべく準備をすゝめていたが、四日午後一時から湯本公民館で結成式をあげる。分会長副分会長、庶務、会計などの役員も決める。なお同市の引揚者は約六百名と見られる。

短刀を所持

磐城署は三十一日午後七時二十分ごろ愛知県岡崎市保母町南二百田一七三和紡績ＫＫ職工吉成睦夫（二三）を銃砲等所持禁止令違反現行犯で逮捕した。同日夜菅野（勝）巡査が泉駅前を警邏中、挙動不審の男を発見、駅前の錦旅館で取調べたところ刃渡り十七㌢の白さや入り短刀を持つていた。

盗品を買う

平事件の被告

磐城署では三十日勿来市錦町字糠塚古物商新井賀文こと朴鏞根（三五）を贓物故買、傷害の疑いで逮捕した。同人は二十九日同居中の細川栄蔵から盗品の銅線約六貫八百匁を八千四百円で買い、また三十日午後五時ごろ細川にいんねんをつけ同人の耳を板で殴りつけ全治一カ月の傷を加えたもの、なお同人は平事件統一組の被告だつたが無罪となつた。

郵便競技

四日平局で大會

平郵便局管内の郵便競技大会は来る四日午前九時から平局で開き、管内各局から五十五名の選手が参加し❶普通通常区分❷書留通常差立❸小包差立❹配達道順の四種目に日頃の腕を競う。

草野体育祭

四日に擧行

平市草野青年團では九月四日（日曜日）草野小学校校庭で第九回草野方部体育祭を挙行する。当日は午前八時から午後五時まで九時間を男女選手百名が十六種目にわたり熱戦をくりひろげる。なお優勝部落には公民館長杯などが贈られる。

チフスで死亡

磐城市古港一一七漁夫柴田政治さん（三七）は三十日午後八時四十分腸チフスで死亡した。

汚物搬出の三輪車購入

勿來市で活躍

勿来市ではじん芥処理にはオート三輪車の力を借りなければ市街の美観は期せられないと約四十万円を投じ大型三輪車一台を購入し、一日から勿来全市に亘つて各家庭の汚物を一定の場所に搬出し其の使命を果す事になつた。

【写真は汚物搬出の三輪車】

正しい時計と
ポータブルラジオて
秋も亦たのし
時計はやつぱり
金光堂
５丁目電１９５番

かばやきやながわ
壽司の
にた川
才槌小路店 電一〇二一
紅小路店 電一四五六

内科外科
産婦人科
放射線科
松尾病院
厚生保護指定医
労災保険指定医
院長 松尾正平
副院長 原 徳之
医員 松本 浩
レントゲン技手 杉田昭二
平市大町五（電一五四）

御存じですか？
今年の流行
靴のスガタ
平ギンザ 電1104
二丁目 電2059

健康リング
体験者は偽らず。病気は[illegible]い中七カ年の研究、この事実に驚く必ず満足する肩こり、神経痛、腰痛治療法公開は張り薬、ぬり薬にて効果無き方は一度本法を試みられたい。各地物理療院にて併用好評実費普及に付き悩む方のみ申込みを乞う新聞名記入申込者説明書送る
茨城県土浦局私書第十四号
みすゞ健康リング普及會

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話一二九番

見てビツクリ
洗ってビツクリ
この秋の化繊の良くなつたにはホントにビツクリです。見た目にも非常に美しくなりましたが、何度洗つても縮まず、その美しさがチツトも崩れません。
①化繊格子一ヤール二百円－四百円
②〃クレパネツト〃三〇〇円迄
③〃リングシヤンタン三七〇円
④純毛プラノ〃八百円－一千円
藤越
小名浜
平市

好島庄と八幡社（下）

山名隆之

大へん廻りくどくなつたが、こうした飯野家の祖先は好島庄の中心として政治経済を支配し、兵馬の大権を掌握し、民衆に信仰あつき八幡社を守る身分となつた次第である。今日単に八幡神社と申さず、飯野八幡神社と申すのはかゝるいきさつからなのである。

飯野文書にみられる好島庄は同文書の最古のものといわれる宝治元年（後深草天皇の代、鎌倉執権時頼の時代、西暦一二四七年）のころより明かになるが、前にも触れたように、これより六十年も前に八幡社の起源の事実があり、更にその事情からいつてこの荘園の成立はもつとさかのぼるべきであり、別に海道の大豪族岩城氏の活動などからみて或いはその源流を十一世紀乃至十世紀にまでさかのぼつて考えてよいかと思われる。いうまでもなく荘園の時代は平行的に武士階級成立の時代である。従来の百姓、浮浪人は多量に武士構成の要員となり、家子或いは郎党となつて主君に忠勤を擢んでたそしてすでに骨董化せんとする貴族階級に対決する第二階級となり鎌倉幕府の開設にはじまる初期封建社会こそはこの好島庄にも不動の地位を与えるところの客観條件となり得たようである。

庄の広さは逐年増大していつたようで最初のころのものとしては「八幡宮御領好島御庄元久元年云々」と記した注進状であつてこゝに書上げられたものは、総計五二三丁を越えている。（元久元年は西歴一二〇四年で八幡宮御鎮座後十八年）しかも注意すべきはこのうちの約五〇％が免田で本所に対して遠慮の要らぬ土地であつた。これだけではしかし、どこからどこまでが好島庄であつたかを読者諸氏は諒解に困難されるであろうがその事についてはそれから一八〇年ほど経た永徳五年（南朝の元中二年、西歴南朝の元一三八五）の文書には庄内の地名最もおゝく神領（荘園領）は波立比佐、末続など現代双葉郡の南部にまでおよんでいたのである。比佐は今日の久ノ浜であろう。北限はかくのごとくであり、南限は稍々不明であるが、上遠野、菊田の線にまで延びておつたことは略し確実である（もつともこの間の東西南北すべてこの庄のものとはいいがたい。）してみれば八幡社の祭礼とあればこの広大な地域に亘る莫大な数の氏子達が祝い、一日がかり二日がかりで参詣に来て、お家安泰、五穀豊穣、武運長久を祈つたと想像される今わずかに往昔の面影を偲ぶヤブサメをはじめ、笠懸、犬追物に打興じ、今日の生が市などもひらかれ、美しい白拍子の舞もみられ、或いは田楽の業もヤンヤの喝采を博したであろう。今日とても大いに賑やかではあるが、参拝される方のなかには軽い気持で参拝される方もあるであろう。当時にあつては本質的に今日とは異る風情があつたに違いなく、八幡社が好島庄の政治、経済、宗教の最高のシンボルとして、そのお祭と申せば、まことに力のこもつた、華やかな、賑やかなものであつたことが想像される。その実際の内容を知るべき資料が残つていないのは惜しいことだが、これはむしろ文学のジャンルに入るべきもので貴族社会に比べて、そこが武家社会の劣るところであり、源氏物語や枕草子から京の祭りの風情などを察することとはひとしくないところである。私はむしろ文学の中にひそむ夢幻の興味にかられて本文を草し、間もなくして八幡社神燈のあかあかと灯されるのを思いみるのである。（一九五五、八、二八）

（註）本文については、多く故猪俣金五郎先生（二五、十、十九逝去）の卓説に負うところが多い、記して感謝の意を捧げたい。なお本稿については、磐高史学研究クラブ機関誌「考古」第七号所収拙論「好島庄の環境」を参照されたい。

（筆者は磐高の教諭）

新しいDPは富士

教壇から藝道に入り成功

錦を飾り小名一小で講習會

磐城市小名浜第一小学校でかつて教鞭をとつていた二人の若い女教員がのぞみをかけた芸道に転向。血のにじむような努力が漸やく実を結び中央芸道界にクローズアップされ家族、知人はもちろん市は喜びにわきたつている。

【その一】同市大字岡小名字君カ塚一〇一出身の山本春子さん(三八)がその一人、去る二十年、短い満一カ年間ではあつたが小名浜第一小に奉職、そのご藤原義江歌劇團専属アルト歌手として入門、苦難の道を見事乗り越えた甲斐が認められNHK第一（夜九時十五分より）から三十一日より三日間放送されている。歌劇スメタナ作曲「売られた花嫁」の主役級の役割をふりあてられ出演している、「売られた花嫁」は交響楽團がオペラを公演するという初の試みのもので我が国では初演、山本さんは前回の「オネーギン」公演中ベルリン市立歌劇場第一指揮者であつたNHK交響楽團指揮者エッシユバッハー氏に特に抜擢され今度の新人初登場という破格のチャンスを与えられたものでこの道のベテラン三宅春恵、伊藤京子、笹田和子伊藤武雄、木下保氏らとともに公演しているわけ。また予定されている九月十三日から十五日までの定期公演のほか十六日臨時会員向き公演（会場は毎夕六時より日比谷音楽堂）にも出演することになつている。

【その二】去る二十二年から二十七年までの五カ年間小名浜第一小の教壇に立つていた稲沼美惠子さん(三五)＝常磐市大字西郷出身＝は学校向き舞踊研究所今泉かほる会＝東京都杉並区馬橋四の四四〇＝の門下生となつて研さんをつんでいたがその努力が認められ去る六月名取り『泉美惠子』を授与されたもの。市教委、校長会では歓迎会をかねて来る三、四の両日午前十時より稲村さんを招き学校、家庭向きの舞踊講習会を小名浜第一小講堂で開く。一方地元に稽古所を設けて舞踊の指導にあたつて貰う運動さえおこつており前途が大いに期待されている。

市教委高木教育長（前小名浜第一小校長）談＝山本、稲沼さんの二人は私が校長時代に在職していた方々で非常な努力家であつた。とかく荒波の強い芸道界をよく乗り越えてくれたと我事のように嬉しい。のびる素質は備つていたのでもあろうが血と涙の結晶がかくさせたもので感激にたえない。

【写真は山本さん－右－と稲沼さん】

湯本一中に校門

木村氏が寄附申出で

常磐市湯本第一中学校は昭和二十四年一月現在の場所に新校舎が建設されたが校舎だけで「校門」は後廻しになり現在におよんでいる校門の無いのは学校としても格好もつかず、校門が欲しいと長い間[illegible]望していた所今回同市上仲町味噌醤油醸造業木村重五郎氏より寄附申し出があつたので近くPTA実行委員会を開いて建設計画案をたてることになつた。

小名一小運動會

磐城市小名浜第一小学校ではPTA学級委員評議員、職員合同会を三十一日午後一時より同校講堂で開き夏休期における校外生活の指導反省について打合せを行つたのち、秋季運動会を二十三日午前七時半より同校々庭で催すことを申合せた。

九月の青年學級

四倉町の日程

四倉町公民館では、同町青年学級九月行事の日程を次のように決めた。

▼三日生花講習会、午後七時から公民館

▼十二日教養講座、午前九時から公民館

▼十七日生花講習会、午後七時から同

▼二十四日小名浜日楽、製塩工場見学

▼二十六日映画観賞

九月のプロ

小名濱婦人學級

磐城市小名浜公民館主催婦人学級の九月中のプロが次の通り決つた実生活に必要な知識技術その他一般教養の向上を目指し毎週一回小名浜公民館日本間で毎夜七時より九時までの二時間開催しているもので多数の聴講を希望している。無料

▼三日受胎調節について、平保健所係員▼十日郷土の歴史、小名浜高校教諭高萩精玄▼十七日新しい家族制度、福島家庭裁判所平支部係員

詩

雲ー

植田親愛 作

むくむくむくむく
白昼のあいだ
私の心臓に
雲がたれさがつて
ひろいはるかな天に
私は立つていた
優しく風が
私をはこんでゆく
山も谷も家も
くろくうずくまり
楽しさがつづいてかえつてくる
そして快い解放感に
溺れていた

鶯ー

うつとり
光がながれ
快よい音色がわく。
私をいだくのは誰だろう。
ふと仰ぐ
木の梢に
季節を感じながら
しずかに春の笛をふく
若々しい声が
ほのぼのと白いさざなみをたてゝ
ゆく
天にしみるばかりの鶯の初音
私はすばらしい山の頂上にたち
梢よりふつてくる
その熱い鳴きぶりに感動した。

一條の煙ー

焚火を囲んで
村人が楽しそうに
語り合いながら
火をかきあつめあたたまつている
懐しく聴く
ふるさとの人々の言葉に
白いさざなみのように
夢のなかにひろがつてゆき
忘れることはできない
目ぶたをあつくする
楽しい影が

商工らん

小林靴店開業

平市堂の前、税務署横向いに小林靴店が開店した、新店だけにサービス良く、好評を博している。二丁目松浦靴店の店員が新店を持つたもの。

【写真は小林靴店】

今晩のラジオ 1日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五（郡）四局通信
七・三〇 農村へ送る夕
九・一五 のんきタクシー
九・三〇 時の動き
一〇・一五 邦楽名曲選
一〇・三〇 浪曲の聞き方味わい方

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
七・一五 民謡風土記
七・三〇 日東紡アワー
八・〇〇 タレントスカウト
八・三〇 浪曲玉手箱
九・〇〇 平凡アワー
九・三〇 声帯模写
九・四五 夜の調べ
一〇・〇五 名作アルバム
一〇・一五 夜の希望音楽会

民報映画案内

◇平市 三十一－六日
★平館 夜六時三〇分 振袖剣法 力道山大あばれ 花嫁はどこにいる
★民劇 夜七時 ミズーリ大平原 インディアン征路（四日まで）
★聚楽館 夜六時四〇分 指紋なき男 地獄と高潮
★ひかり座 夜七時 無頼の谷 太平洋作戦（五日まで）
★世界館 夜六時五六分 アツカマ氏とオヤカマ氏 浅草の鬼
★東映劇場 夜六時四〇分 紅孔雀大会 源義経

◇磐城市小名浜
★金星座 夜七時 獄門帳 狙われた駅馬車（二日まで）
★磐城座 夜六時五〇分 楊貴妃 円卓の騎士（六日まで）
★金美館 夜七時 地獄の接吻 終電車の死美人（四日まで）

DPはタナカ

ナイトショウ
ギャングボスが清純な少女の童心に清められる異色ギャング篇
片眼のジョニー
バット・オブライエン ゲイル・リード
昭映フィルム配給
2 3 4日
平館
半料円 時十場 夜入30

ズバヌケタ性能！
猛烈な馬力と耐久力
展示中
御試乗下さい
ホンダドリーム号250CC
修理・部品は弊社工場へ
新和商事株式會社車輛部
平市材木町（聚楽館前）電977　工場＝平市堂前（地方事務所前）電2065

眼科
眼科醫院 明雲堂 新妻幸男
平市仲田町 ひかり座 電669番

開花亭のパン

求貸家
▽平市内▽一戸建▽三室以上▽水道付▽委細面談 NHK平放送局（電八〇七）

賣宅地
▼平市旧城跡・一流住宅地▼八十二坪▼坪五千円 姓名在社（四一）

カメラ部専門技師急募
▼特に暗室業務に自信のある方▼委細面談、高給優遇す▼カメラお求めについての御相談はお気軽に是非一度御来店下さい
助川カメラ店 磐城市本町電二〇八

板ガラス 陳列ケースの
御用は平和通りの
會田ガラス店 TEL363